

掲載をご希望される方は
お問い合わせください

問合せ 総務課情報グループ
☎2511

教えてください

あなたの夢

— Vol. 7 —

細く、長く、懐かしいと思える地元へ。

「あったらいいな」を形に。



阿南 崇瀬さん / なつきさん

大阪府出身の阿南 崇瀬さんは、俱知安高校を卒業後に札幌の菓子専門学校へ進学。

在学中から勤めていたケーキ店で約7年間経験を積み、令和4年に安平町へ移住しました。

令和5年5月には、追分地区で「おむすびカフェ 結」をオープンし、追分高校生によるオリジナル商品開発にも協力するなど、地域とのつながりも大切にしています。

「子育て中のお母さんやお父さんが、ご飯を食べるときくらいはゆっくりできるように」と、店内には子どもが遊べるスペースを設置しており「自分たちの思うあったらいいなをこれからも形にしていきたい。高校生や地域の子どもたちが大人になって地元に戻った時、懐かしいと思ってもらえるように、細く、長くこの店を続けていきたい」と素敵な夢を教えてくださいました。

― 編集者コラム ―

総務課情報グループ

中崎 凌

「高校生の挑戦、地域共同制作」
昨年からは始まった追分高校生によるオリジナル商品の開発が、今年も新たな挑戦として動き出しました。

取材で試食したキーマカレーはどれも工夫にあふれ、子どもから大人まで楽しめる優しい味わい。生徒たちの熱意がしっかりと感じられる一皿でした。

この取り組みの核心は「地域共同制作」という部分にあると感じています。町内産の食材を使い、町内唯一の高校である追分高校の生徒が考えたメニューを、町内の飲食店が商品として「形」にする。そして今回は、広報紙も生徒と一緒に作り上げました。まさに地域が一体となった取り組みです。高校生の挑戦と地域の力が結びついた商品は、10月22日(水)にお披露目されます。

地域で育まれた一品を、どうぞ楽しみにお待ちください。

